



2026年5月14日
東日本旅客鉄道株式会社

JR 東日本は「第2回鉄道技術展・大阪 2026」に出展します

- JR 東日本では、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」に掲げた、最先端の技術力で商品・サービスをお届けして社会を変える、真の技術サービス産業をめざすべく、様々な技術開発に取り組んでいます。
- 西日本エリアでの情報発信を通じて、オープン・イノベーションやモビリティと生活ソリューションの技術革新の紹介、パートナー創造を進めるために、「第2回鉄道技術展・大阪 2026」に出展します。
- また、今回初めて、持続可能な鉄道事業の実現に向けて鉄道事業者が連携して進めている取り組みを企画展示として紹介します。
- 開催期間中に是非ご来場のうえ、モビリティと生活ソリューションのイノベーションに向けた JR 東日本の取り組みに触れてみてください。

1. 第2回鉄道技術展・大阪 2026 Mass-Trans Innovation Japan Osaka 2026

- (1) 日時 2026年5月27日(水)～29日(金) ※10:00～17:00 ※29日(金)は16:30まで
- (2) 場所 インテックス大阪(大阪市住之江区南港北1-5-102)
- (3) 主催 産経新聞社(公式HP <https://www.mtij.jp/osaka/>)

2. JR 東日本の主な展示内容

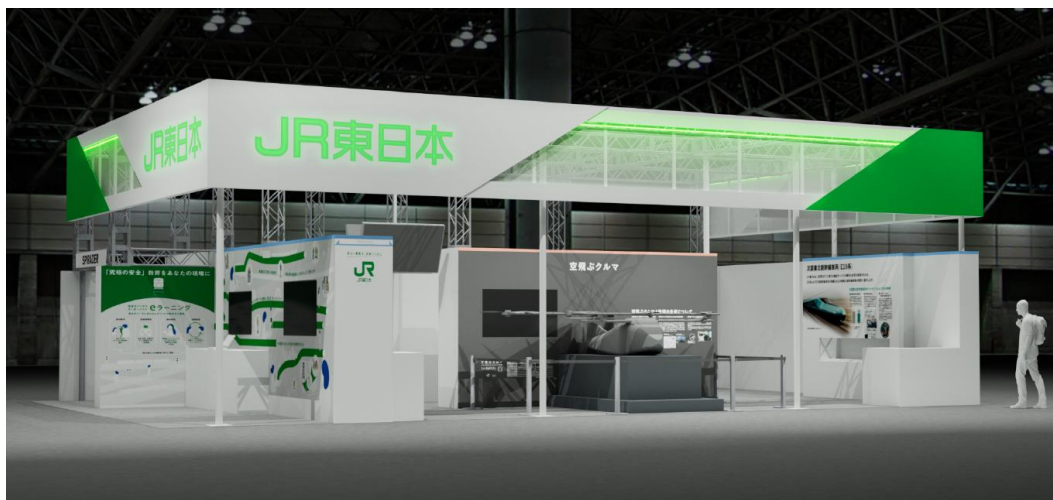
【モビリティと生活ソリューションの未来を紹介】

空飛ぶクルマ、Suicaの未来、宇宙関連技術の活用、フュージョンエネルギー ほか

【技術開発の成果を紹介】

鉄道事業者等への課題解決ソリューションの提供、次世代新幹線の開発(ALFA-X、E10系)、水素ハイブリッド電車の開発、BRT自動運転の開発 ほか

※展示内容は変更となる場合があります



《展示ブースイメージ》

空飛ぶクルマ

「空飛ぶクルマ」は、電気を動力として垂直に離着陸しての飛行が可能であり、従来の移動手段と異なり道路や地形などの影響を受けづらいことから、新たな移動手段として近年注目を集めています。JR 東日本では、「空飛ぶクルマ」を用いた新しい移動体験・価値の提供に取り組んでいきます。今回、米「ASKA」社と検討を進めている空飛ぶクルマの 3 分の 1 スケールモックアップを展示します。



鉄道事業者等への課題解決ソリューションの提供

① GENICHI (ゲンイチ)

「現場第一線における技術開発」は第一線の職場の社員が作業の現場で直面した課題を解決するため、社員自らが主体となり技術開発に取り組む制度です。この制度で生まれた成果を活用し、社会に新たな価値を提供するため 2026 年 4 月、新たなブランド「GENICHI」を立ち上げました。鉄道業界のみならず幅広い分野の皆さまに新しい価値をお届けします。



② DX プロのハンズオントレーニング

JR 東日本では、職場 DX (Digital Transformation) の推進に向けたデジタル人材育成に積極的に取り組んでいます。鉄道業界特有の課題を抱えている企業向けに、ローコードツール^{※1}のスキル習得等のハンズオントレーニングを提供しています。

※ 1 ローコードツール：専門的なプログラミング知識が無くとも、業務を効率化するアプリや自動化の仕組み構築を可能とするツール



③ 安全教育 e ラーニング「KeYing」

教育 e ラーニング「KeYing (キーイング)」は JR 東日本建設工事が提供する教育 e ラーニングコンテンツです。専門性が高い鉄道工事の教材作成から受講者管理までを一括して対応し、10 分程度にまとめたオリジナル動画により質の高い教育を実施します。現在は、鉄道事業者だけでなくバス事業者や建設会社にもサービスの提供先が広がっています。



④ 鉄道電気技術のサポートサービス

JR 東日本の電気部門が有する技術・知見を活かし、鉄道電気に関する様々な業務支援・コンサルティングを実施しています。例えば、設計のレビューをしてほしい、JR 東日本で導入しているスマートメンテナンスを導入したい、設備のスリム化の検討をしてほしいといったご要望にお応えするサービスを提供します。

電気 SIO
まちスキ E ラボ

⑤ 機能拡張版車両データ分析アプリ

車両から取得したデータをリアルタイムで処理する機能を備えたデータ分析アプリです。車両に記録したデータを活かして鉄道車両の CBM^{※2}の実現に役立てます。さまざまな車両形式やデータに対応できるためコストを抑えた導入が可能です。

※2：CBM（Condition Based Maintenance：状態基準保全）設備の現在の状態をリアルタイムで監視し、そのデータに基づいて保全の必要性を判断する予防保全の一種



3. JR 東日本・JR 西日本による特別講演、対談イベント

鉄道技術展と併催される特別講演で JR 東日本・JR 西日本による特別講演、対談イベントを行います。今後、産経新聞社のオンライン記事や産経 YouTube チャンネルでの紹介を予定しています。

- (1) テーマ 「鉄道業界の課題と未来」
- (2) 登壇者 JR 東日本 代表取締役副社長 イノベーション戦略本部長 池田 裕彦
JR 西日本 理事 鉄道本部副本部長 イノベーション本部長 田淵 剛 氏
- (3) 日時 5月27日（水）16:00～17:00
- (4) 会場 インテックス大阪 国際会議ホール

4. 鉄道事業者間での共創の取組みを初展示

当社ブースに隣接した企画展示ブースで、鉄道業界が抱える課題解決に向けた共創の取組みを鉄道各社が協力して紹介します。

- (1) テーマ
「共創で拓く鉄道の未来 – 持続可能な鉄道の実現に向けて –」
- (2) 展示内容
鉄道電気部門のスマートメンテナンス、ドローンを活用した取組み、鉄道の環境優位性の理解促進、新幹線を活用した荷物輸送サービス など



鉄道電気部門のスマートメンテナンスのイメージ

なお、JR 東日本グループでは、以下の各社も「第 2 回鉄道技術展・大阪 2026」に出展します。

- ・株式会社総合車両製作所
- ・JR 東日本コンサルタンツ株式会社
- ・株式会社 JR 東日本環境アクセス
- ・ユニオン建設株式会社